

課題研究 シラバス

科目名	学年	単位数	使用教科書・副読本
課題研究	3	1	数学の内容（生徒自身で選択）

1 目標

科学・数学に関する課題研究を設定し、その課題の解決を図る学習や研究を通して、科学・数学的な思考力と探究心を培い、問題解決能力や創造的学習態度を養う。また、その上に立ってあらゆる事象を科学的に判断し処理する態度及び能力を養い、それを発表する機会を設けることでプレゼンテーション能力などの育成を図る。

2 評価の観点と評価方法

- ・研究の取り組み状況（素素の学習態度）
 - ・発表
 - ・レポート
- 上記の評価の観点を踏まえ、総合評価（絶対評価）を行う。

3 学習計画

学期	月	単元	学習内容	観点別評価規準 〔関〕：関心・意欲・態度 〔見〕：数学的な見方や考え方 〔技〕：数学的な技能 〔知〕：知識・理解	考査範囲
1	4	オリエンテーション			発表・レポート
		数学Ⅰ 第1章	ゼミ方式について 進路（受験）における自らに必要な科目について考える ・式の計算 ・実数 ・2次不等式 ・集合と命題	・ゼミ方式について理解する〔関〕 ・進路（受験）における自らに必要な科目について考える〔関〕 ・課題および問題解決のために必要な公式やまたは方法を身につけているか。〔知〕〔技〕	
		第2章	・2次関数とグラフ ・2次関数の値の変化 ・2次方程式と2次不等式	・問題解決に積極的に取り組んでいるか。〔関〕 ・問題を解決するときに、論理的に説明することができるか。〔技〕	
	5	第3章	・三角比 ・三角比への応用	・図やグラフなどを用いて、数学的に説明することができるか。〔見〕	
		第4章	・データの分析		
	6	数学A 第1章 第2章	・場合の数 ・確率 ・平面図形		
	7	数学Ⅱ 第1章	・空間図形 ・式と証明		
2	9	第2章 第3章	・複素数と方程式 ・点と直線 ・円、軌跡と領域	・課題および問題解決のために必要な公式やまたは方法を身につけているか。〔知〕〔技〕 ・問題解決に積極的に取り組んでいるか。〔関〕	発表・レポート
	10	第4章	・三角関数 ・加法定理	・問題を解決するときに、論理的に説明することができるか。〔技〕	
	11	第5章 第6章	・指数関数と対数関数 ・微分法 ・積分法	・図やグラフなどを用いて、数学的に説明することができるか。〔見〕	
	12	数学B 第1章 第2章	・平面上のベクトル ・ベクトルと平面図形 ・空間のベクトル ・数列とその和 ・漸化式と数学的帰納法		
3	1	第4章	・確率分布 ・統計的な推測	・課題および問題解決のために必要な公式やまたは方法を身につけているか。〔知〕〔技〕	レポート
	2	自らの進路に合わせた課題設定		・問題解決に積極的に取り組んでいるか。〔関〕	
	3			・問題を解決するときに、論理的に説明することができるか。〔技〕 ・図やグラフなどを用いて、数学的に説明することができるか。〔見〕	

